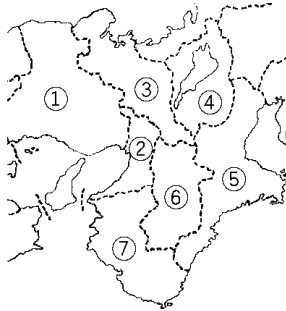


第 13 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	近畿地方			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。



- (1) 地図中の①～⑦の府県名を書け。
- (2) ①～⑦の中で、県名と県庁所在都市名が異なる県が 3 つある。この 3 つの県の番号と、県庁所在都市名を書け。

[解答欄]

(1)①兵庫県	②大阪府	③京都府	④滋賀県
⑤三重県	⑥奈良県	⑦和歌山県	
(2) ①神戸市、④大津市、⑤津市			

[問題 2]

次の各問いに答えよ。

- (1) 奈良、兵庫、京都などの大都市郊外でさかんな、生花や野菜などを出荷日の朝に収穫して市場に出荷する農業を何というか。
- (2) 高値で取引される京都で伝統的に栽培されてきた九条ねぎや賀茂なすなどの野菜を何とよぶか。

[解答欄]

(1) 近郊農業	(2) 京野菜
----------	---------

[解説]

〔近郊農業〕

例)京野菜:九条ねぎ, 賀茂なす

奈良や兵庫、京都などの大都市郊外では、生花や葉ものを中心とした野菜を栽培し、出荷日の朝に収穫して市場へ出す近郊農業がさかんである。

京都の伝統野菜である九条ねぎや賀茂なすは、京野菜として高い価格で取引されている。

なお、京都府にある宇治市はお茶の生産で有名である。

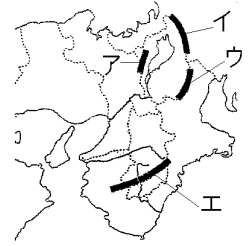
[問題 3]

右の地図を見て、次の各問いに答えよ。

(1) 夏は季節風によって日本でも有数の多雨地帯になる山地を地図中のア～エから選び、記号で答えよ。

(2) (1)の山地の有名な木を次の[]から選べ。

[えぞまつ・からまつ すぎ・ひのき もみ・とうひ]



[解答欄]

(1) エ	(2) すぎ・ひのき
-------	------------

[解説]

[紀伊山地の林業]

温暖で雨が多い→木(すぎ・ひのき)が育つ

林業: 安い輸入材におさされている

林業従事者の減少・高齢化

環境林としての役割

自然のダム, 漁業,

地球温暖化防止



紀伊山地は、温暖で雨が多いため木がよく育ち、林業が発達した。

森林の多くは私有林で、すぎやひのきが中心である。(吉野すぎ、尾鷲ひのき)

森林資源に恵まれた日本の木材自給率は、1960年ごろは90%近くあったが、その後、急速に低下して1970年には50%を下回り、現在(2011年)では27%にまで低下している。

日本は森林に恵まれているが、その多くは山地にあるため、伐採・運搬の費用が高くなり、安い輸入木材と競争できなくなったためである。

現在、日本は世界有数の木材輸入国で、カナダ、アメリカ、ロシアなどから輸入している。

林業の低迷によって、林業従事者の減少・高齢化が問題になっている。

しかし、森林は、自然のダムとして水を安定供給したり、洪水を防いだり、下流の海の漁業資源を育てたり、さらに地球温暖化を防ぐ役割を担ったりと、環境林としての役割が見直されている。

(統計出典)「日本国勢図会 2013/2014」P182

[問題 4]

近畿地方の工業について、次の各問いに答えよ。

近畿地方の工業の中心は(A)工業地帯である。重化学工業は、①臨海部に多く、内陸には、中小企業の工場が多くある。

その中小企業の中には、大企業にもまねができない高い技術で、②宇宙産業やロボットを作るような会社も数多くある。

(1) (A)にあてはまる語句を答えよ。

(2) 下線部①について、重化学工業はなぜ臨海部に多いのか。日本の貿易面から理由を答えよ。

(3) 下線部②の産業を何というか。

[解答欄]

(1) 阪神	(2) 船による原燃料の輸入や製品の輸送に便利であるから。
(3) 先端技術産業	

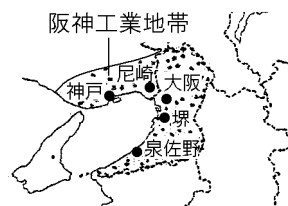
[解説]

[[阪神工業地帯]

戦前:繊維工業

戦後:鉄鋼や石油化学(臨海部に立地)

中小企業が多い(先端技術産業)



阪神工業地帯は、戦前から繊維工業を中心に発展し、戦後は鉄鋼業や石油化学などの重化学工業が発達した。

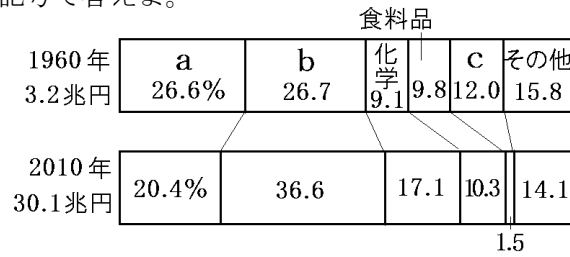
重化学工業は、船による原燃料の輸入や製品の輸送に便利な臨海部に立地している。

しかし、重化学工業は外国との競争で停滞している。

都市内部には中小企業が多い。中小企業の中にはロケット部品など先端技術産業を支える企業もある。

[問題 5]

次のグラフは、阪神工業地帯の変化を示している。a～c の生産品目の正しい組み合わせを以下のア～エから選び、記号で答えよ。



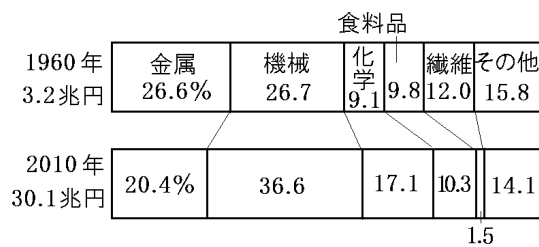
- ア a 機械、b 繊維、c 金属 イ a 機械、b 金属、c 繊維
 ウ a 金属、b 繊維、c 機械 エ a 金属、b 機械、c 繊維

[解答欄]

エ

[解説]

[阪神工業地帯の工業の割合]
 金属の割合が、比較的に高い

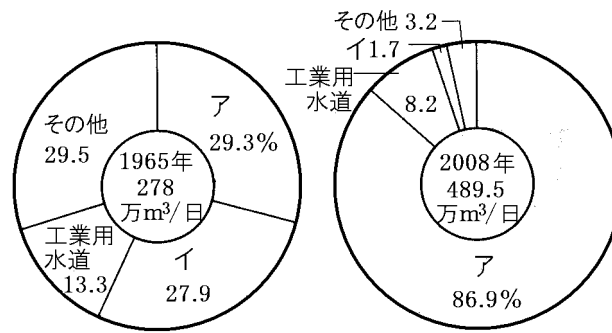
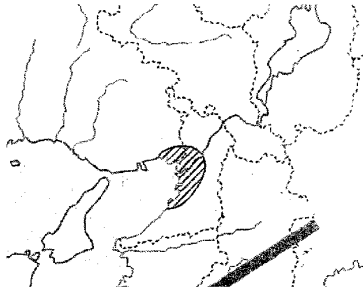


阪神工業地帯は、他の工業地帯・工業地域と比べて、**金属の占める割合が高かった。現在でも、約 20% を占めている。**阪神工業地帯と並んで金属の割合が高いのは、京葉工業地域(20.2%)、瀬戸内工業地域(19.4%)である。

(統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P195

[問題 6]

次の各問いに答えよ。



- (1) 地図中の斜線部分の地域でおこった地面が沈む問題を何というか。
- (2) 資料のグラフは(1)の解決に役立った工業用水の水源の変化を示したものである。資料のア、イに共通してあてはまるものを、下の[]から1つずつ選べ。

[地下水 リサイクル水 海水]

[解答欄]

(1) 地盤沈下	(2) ア リサイクル水	イ 地下水
----------	--------------	-------

[解説]

〔地盤沈下〕などの環境問題
 原因：工業用の〔地下水のくみ上げ〕
 対策：工業用水のリサイクル

大阪では、工業用に地下水をくみ上げすぎたことで地盤沈下が起こった。

これに対して、工業用水をリサイクルすることで地盤沈下を防ぐ取り組みが行われた。

現在では、大阪府の工業用水の水源の約 87%がリサイクル水で、地下水はわずか 1.7%になっている。